



令和4年
3月号

しゃきょう
おわせ

～ 今月号の表紙は、子育て用品リサイクルイベント（めっけもん広場）のようすです。～

きらり 尾鷲人

こんにちは！尾鷲市のボランティアアさんを紹介する、きらり☆尾鷲人のコーナーです。今回は、『スクールガード』活動をされている、堀内広子さん、服部敬さん、北村孔司さんをご紹介します。



左から北村さん、堀内さん、服部さん

◎スクールガード 活動とは？

子どもたちが安全・安心して登下校出来るように通学路等で見守り活動をしています。毎朝、活動されている三名の皆さんにお話を伺いました。

◎始められた きっかけは？

堀内さん「家の前で転倒した人を手当てしたのがきっかけです。それ

から毎朝の日課になりました。子ども達に「グッドバイばあちゃん」と呼ばれることもあるんですよ。」

服部さん「定年退職後、スクールガードをしている知人の勧めで始めて十三年になります。はつとりくん！と親しく声をかけてくれる子もいたり、毎朝、子ども達との会話が楽しいです。」

北村さん「友人の勧めと、丁度、孫が入学し、保育園への送迎の延長線上でやり始めて、一年半たちました。他のお二人に比べ、まだまだ新米です。車通りが多いので、歩道からでないように又、信号が変わっても、すぐに出ず確認するよう声掛けをしています。顔を知ってもらうのに、一年ほどかかったかな。今は、殆どの子ども達から挨拶が返ってくるようになって、普段着の時もおじちゃんやーと声をかけてくれるようになりました。」

◎活動への思いは？

「小さい子は転んだりケガも多いので絆創膏、ティッシュ、ビニール袋等携帯しています。あまり無理なことは続かないですが家の近くで、やっているのが続いています。」

「子ども達のためにと始めた活動ですが、自分も体を動かして健康を

保っているように感じています。大きなランドセルを背負ったちっちゃ

な一年生が、二年生から六年生卒業まで、だんだんと大きく成長していく過程をみるのが楽しく、続けていけばいくほど、やりがいがあったて、やめれなくなっていました。」と皆さん、笑顔で語ってくれました。

◎スクールガード 募集中です。

感心を持たれた方は、お近くの小学校へお問い合わせください。



思いやりがあふれるやさしい活動にや。尾鷲にはこんな優しい気持ちがあふれているんだにやあ。



共同募金配分金事業

令和2年度に集まった共同募金を活用した事業についてご紹介いたします。

ひゃくしゅん 百寿雀 を購入しました。



手のひらサイズの大きな牌を使います。

百寿雀は北海道釧路で生まれた麻雀をアレンジしたゲームです。麻雀と同じようにアガリを競いますが、難しい役などはなく、ルールも覚えやすくなっています。

お年寄りの閉じこもり防止や認知症予防に活用することを目的に購入し、無料で貸し出しています。換気やマスクの着用、消毒など比較的感染防止対策が取りやすいため、地域のふれあいサロンなどにお役立てください。





災害時の助け合いがスムーズにできるよう、災害ボランティアの育成に取り組んでいます。今年度は台風などで屋根に被害が出た時の応急処置のしかたについて、被災地でのボランティア活動に取り組む災害ボランティア愛・知・人さんを講師に迎え、ブルーシートの張り方や安全管理について、実技演習を交えて教えていただきました。使用するブルーシートの番手や固定する時の注意点、必要な道具などとても実践的な内容で、参加者からも「よかったです」「またやってほしい」と好評をいただきました。引き続き共同募金を活用させていただき、ボランティア育成に取り組んでいきたいと思っています。

◎ブルーシートの張り方

災害ボランティア講座

を開催しました

共同募金配分金事業

募金へのご協力ありがとうございました



日本赤十字社会費（日赤募金）



日本赤十字社のあらゆる活動（**献血、災害救護、国際的な救護活動、ドクターヘリ運営等**）に役立てられます。尾鷲市でも、**救急法講習会の実施や、日赤奉仕団の炊き出し訓練**など、日赤の活動が行われています。

尾鷲市目標額 2,570,000 円

募金額 1,874,339 円

災害義援金



義援金受付額 59,078 円

※令和3年1月～令和4年1月末現在

【受付した義援金】

- 令和3年8月大雨災害（福岡・佐賀・島根・長崎4県）
- 令和3年7月大雨災害（熱海市他）
- 令和2年7月豪雨（九州）ほか

日本赤十字社を通じて全額が被災者へと届けられます。

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、三重県共同募金会が実施する募金活動です。集まった寄付金は「**自分の地域をよくするしくみ**」として来年度尾鷲市内の団体にも配分され、尾鷲市内の様々な福祉活動に活用されます。

尾鷲市目標額 2,428,100 円

募金額 2,250,988 円

善意銀行



これまで、個人や団体など様々な方から、金銭や物品を寄付していただき、このご寄付は**地域福祉のために活用させていただきます。**

令和3年2月1日から令和4年1月31日までの一年間にご寄付いただいた方です。（順不同）

にしで しんじ	西出 真治 様	100,000 円
かわかみ のりお	川上 訓生 様	30,000 円
なかむらちようちくふくしいんかい	中村町地区福祉委員会 様	19,756 円
匿名 5 件		90,000 円

合 計 239,756 円



部署

～私たちこんな仕事してます～

紹介リレー！



尾鷲社協介護事業所

◎訪問介護事業所とは？

ヘルパーや運転手が活動している事業所です。

ヘルパーは、介護保険や障害福祉サービスの利用者様宅を訪問し、入浴等の身体的な介助や家事、通院の介助など日常生活上の必要な支援を行っています。

運転手は、利用者様の通院や外出のための運転業務を行っています。総勢39名の職員で対応しています。

◎尾鷲社協のヘルパーの特色は…

介護保険が始まる前からヘルパー活動しており、長い歴史があるため熟練者がたくさんいます。また早期より資格取得に力を入れてきたため、ヘルパー資格者の約半数が介護福祉士資格を有しています。

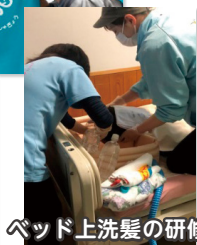
◎「ずっとウチで暮らしたいを応援！」を合言葉に！！

住み慣れた我が家ですつと気持ちよく過ごしてほしいという願いを込め、サービス提供責任者を中心としたチームが応援団として利用者様を支えています。

合言葉はTシャツの背中に！



チーム会議の様子



ベッド上洗髪の研修

TEL 0597 (22) 3354
FAX 0597 (25) 1178

◆お問い合わせ◆ 尾鷲社協介護事業所 (訪問介護事業所)

◎職員ひとりひとりの困りごととは皆で解決します！

訪問介護活動を行う中、不安に感じたことはチーム会議等でサービス提供責任者を中心に皆で悩み検討し、解決するよう努めています。

介助の仕方でも悩んでいるときは、チーム皆でその利用者様にぴったりの介護方法を話し合ったり全員のレベルアップのための研修を行い利用者様、ヘルパー双方に最適な介護方法を常に求める姿勢で臨んでいます。

あなたの周りでお困りの方はいませんか？

～日常生活自立支援事業について～

障がいや病気等により、

判断能力が低下した方で…

● 自分に使える福祉サービスってあるの？

● サービスを利用してみたいけど手続きがよく分からない。

● 重要な書類を手元に置いておくのが不安。

● 公共料金等の支払いが滞りがちになってしま



い、今後きちんと支払いたい。

● 銀行での払い戻しや預け入れなどの手続きが不安。

● 通帳を何度も紛失してしまうので、代わりに預かってほしい。

おわせ日常生活自立支援センター
「一度相談ください。」

【相談窓口】

おわせ日常生活自立支援センター

(福祉保健センター1階生活支援課)

☎0597 (23) 3877

月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

(年末年始・土日祝を除く)

こもれびカフェのお知らせ

尾鷲地域包括支援センターでは、認知症施策の一環として、認知症について飲物を飲みながら専門職に相談できる『こもれびカフェ(認知症カフェ)』を開催しています。

認知症の方だけではなく、認知症について学び、考えたいという方など、地域のみなさんの参加により、認知症の正しい理解を深めていき、認知症の方がより安心して暮らせる街を目指します。



どなたでもお気軽に一度遊びに来てみてください。

【開催予定日】

4月13日(水) 13時30分～14時30分

三重県立熊野古道センター

※新型コロナウイルス感染状況により延期・中止する場合があります。事前にお申し込みをよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】

尾鷲地域包括支援センター

☎0597 (22) 3003

《編集・発行》 社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

TEL 0597 (22) 3246

この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金の一部を活動して作成しています。



HP